

派遣者：竹内 崇

派遣先：UC San Diego, Department of Structural Engineering

派遣期間：2019/4/23～2020/1/22 (275 日間)

本プロジェクトにおける(B-1)ハイパフォーマンス研究ユニットのテーマ「(1)損傷制御構造」に関して、2回の派遣を通じて受入研究者の Benson Shing 教授と共同での研究活動を行い、本研究ユニットの目的である「レジリエントRC（鉄筋コンクリート）構造の性能評価」および「レジリエントRC柱部材の高速アクチュエータを用いたリアルタイム検証」を実施した。これらの成果を国際シンポジウムで発表すると共に、査読付きの国際プロシーディングスや国際ジャーナルに投稿した。その過程において、レジリエント部材を有するRC構造物の骨組解析手法と、アクチュエータを用いたRC部材のリアルタイムハイブリッド実験の知識とノウハウを身に付けると共に、海外雑誌に投稿する際の論文の書き方を学んでおり、国際的に活躍できる人材として、期間終了後、研究拠点において損傷制御構造研究の国際研究者ネットワークの活動を担うことが見込まれる。